

「男性にとっての男女共同参画」に関する
意識調査報告書

平成24年4月

内閣府男女共同参画局

目次

第1章 調査の概要	1
1. 背景と目的	3
2. 調査の構成	3
(1) WEB 調査	3
(2) グループインタビュー調査	3
(3) 既存資料の調査	3
3. 調査概要	4
(1) WEB 調査	4
(2) グループインタビュー調査	6
(3) 既存資料の調査	7
4. 調査研究会の概要	8
(1) 目的	8
(2) 委員名簿	8
(3) 調査研究会日程と議題	8
第2章 調査結果の概要	11
1. 男性の性別役割分担に関する意識についての調査項目	13
(1) 男性の性別役割分担に関する5つの意識	13
(2) 項目別の主な結果	14
(3) 男性の性別役割分担についての規範意識	21
2. 男性の性別役割分担に関する意識に影響を及ぼす要因の検討	21
(1) 男性の性別役割分担に関する周囲の意識	21
(2) 男性の性別役割分担に関する意識に影響を及ぼす要因	22
3. 日常生活の意識・行動との関連	25
(1) 家事や育児について	25
(2) 仕事や経済的問題について	26
(3) 相談について	27
(4) 「何もやる気がしない」「死にたい」など思ったことについて	27
(5) 夫婦や恋人間のコミュニケーションについて	28
(6) 定年後の希望について	29
(7) 飲酒の習慣について	30
(8) 日常生活の意識・行動との関連のまとめ	30
4. まとめ	32

第3章 各調査の結果	35
3 - 1 WEB 調査結果	37
1 . 調査概要	37
(1) 調査の回答者のプロフィール	37
(2) 男性調査の回答者の配偶者（妻）のプロフィール	41
2 . 男性の性別役割分担に関する意識について	42
(1) 男性の性別役割分担に関する意識（自身の態度）についての項目	42
(2) 属性及び女性の意識との関連	46
(3) 男性の性別役割分担に関する意識についての項目についての男女別の比較	92
(4) 男性の性別役割分担についての規範意識	94
3 . 男性の性別役割分担に関する周囲の意識の検討	101
(1) 親（養育者）の性別役割分担に関する意識についての項目	101
(2) 配偶者の性別役割分担に関する意識についての項目	102
(3) 職場の性別役割分担に関する意識についての項目	103
4 . 男性の性別役割分担に関する意識に影響を及ぼす要因の分析	104
(1) 男性の性別役割分担に関する意識（自身の態度）の因子分析結果	104
(2) 男性の性別役割分担意識に関する志向についての属性別の平均値	107
(3) 性別役割分担についての規範意識	111
(4) 周囲の性別役割分担に関する意識	111
(5) 男性の性別役割分担に関する意識に影響を及ぼす要因の検討	114
5 . 日常生活の意識・行動との関連	120
(1) 日常生活の家事や家計管理について	120
(2) 子育てについて	128
(3) 仕事や経済的問題について	136
(4) 悩みや困りごと	140
(5) 「何もやる気がしない」「死にたい」などと思ったこと	152
(6) 配偶者や恋人との関係について	158
(7) 定年後や老後の希望について	168
(8) 飲酒の習慣について	174
6 . 日常生活の意識・行動についての関連分析	178
(1) 育児の頻度と家事の頻度との関連	178
(2) 家事の頻度と妻が不在のときの生活困難度との関連（既婚者のみの分析）	178
(3) 日常生活の意識・行動に関する項目の関連分析	179
(4) 夫婦間コミュニケーションに関する分析（既婚者のみの分析）	180
(5) 老後の楽しみや計画に関する分析	182

3 - 2 インタビュー調査結果.....	183
1 . プロフィール	183
2 . 調査の結果	183
(1) 主導権役割志向.....	183
(2) 経済的役割志向.....	185
(3) 日常生活依存志向.....	186
(4) 社会的役割志向.....	187
(5) 私的感情の抑制志向.....	188
(6) 育児休業制度の利用.....	189
(7) 老後の過ごし方.....	190
3 - 3 既存調査結果.....	191
1 . 男性の性別役割分担意識について.....	191
(1) 男性の性別役割分担意識.....	191
(2) 男性の性別役割分担意識と男性の満足度.....	192
(3) 男性の性別役割分担意識に関わる調査.....	194
2 . 男性の日常生活の意識・行動との関連.....	195
(1) 家事について.....	195
(2) 子育てについて.....	197
(3) 仕事や経済的問題について.....	200
(4) 悩みや困りごとについて.....	202
(5) 気分障害や自殺等について.....	205
(6) 配偶者や恋人との関係について.....	210
(7) 定年後や老後の希望について.....	213
(8) 飲酒の習慣について.....	216
引用文献一覧	217
参考文献一覧	219
参考 URL	221

資 料.....	223
1 . 男性の性別役割分担に関する意識についての項目と諸属性との関連	225
(1) 主導権役割に関する項目.....	226
(2) 経済的役割に関する項目.....	235
(3) 日常生活の依存に関する項目.....	241
(4) 社会的役割に関する項目.....	244
(5) 私的感情の抑制に関する項目.....	249

2 . 男性を対象とした WEB 調査結果	253
(1) 回答者属性	255
(2) 配偶者について	260
(3) 男性の性別役割分担に関する意識についての項目 (自身の態度)	262
(4) 日常生活の意識・行動	275
(5) 生活習慣、家事、育児など家庭生活について	280
(6) 相談機関の希望	289
(7) 周囲の性別役割分担に関する意識についての項目	297
(8) 性別役割分担についての規範意識	304
3 . 女性を対象とした WEB 調査結果	307
(1) 回答者属性	309
(2) 配偶者について	312
(3) 女性の視点から見た男性の性別役割分担に関する意識及び態度に関する項目	313
(4) 日常生活の意識・行動	338
(5) 女性自身が持つ性別役割分担についての規範意識	349
4 . 男性を対象とした WEB 調査票	353
5 . 女性を対象とした WEB 調査票	373

第 1 章 調査の概要

1 . 背景と目的

男女共同参画社会の実現の大きな障害の一つは、人々の意識の中に長い時間をかけて形づくられてきた性別に基づく固定的な性別役割分担意識である。このような意識は時代とともに変わりつつあるものの、依然として根強く残っており、特に男性により強く残っていると考えられる。男性にとって生きやすい社会の形成を目指し、男性自身の男性に関する固定的な性別役割分担意識の解消についての調査研究を行い、男性にとっての男女共同参画を効果的に推進するための方策を検討することを目的とする。

2 . 調査の構成

男性の性別役割分担意識の実態を把握するために男性を対象とした WEB 調査を実施し、男性の WEB 調査を補完する目的から、女性を対象とした WEB 調査も実施した。また、男性を取り巻く問題に関して分析された既存調査等を収集し、関連性の考察を行った。さらに、グループインタビュー調査を実施し、WEB 調査での傾向の裏づけや、調査結果の補足などを行いながら、男性の性別役割分担意識の実態の把握を行った。

(1) WEB 調査

男性の性別役割分担意識に関する実態と、男性が抱えやすい日常生活の意識・行動との関連性を検討するため、WEB 調査を実施した。男性がどのような性別役割分担意識を持っているのかを把握し、そのような意識が男性の日常生活の意識・行動といかに関連しているのか、またそのような意識の形成に関連する要因について分析した。なお、男性の回答を補完する目的から、女性調査も実施している。

(2) グループインタビュー調査

男性の性別役割分担意識に関する WEB 調査結果と既存調査の結果を受け、男性の性別役割分担意識や男性の日常生活の意識・行動との関連等、具体的な実態を把握し、どのような支援が有効であるか等を把握するため、グループインタビュー調査を実施した。

(3) 既存資料の調査

男性の性別役割分担意識や男性を取り巻く日常生活の意識・行動に関して分析された既存調査等を収集し、男性の性別役割分担意識との関連性について考察した。

3 . 調査概要

(1) WEB 調査

調査対象

全国に住む 20 歳代～60 歳代の男女（WEB 調査モニター）を、回収目標数（男女各 3,000 サンプル）について年代や人口規模による居住地域区分、婚姻状況に応じてわりつけ、回収目標数に達するまで配信・回収を行った。（図表 1-3-1）なお、本調査は、事前に人数をわりつけて実施しており、20 歳代を除き、各年代において未婚者よりも既婚者の比率が高くなるよう設定している。したがって、全体の集計においては、表に示すような属性の構成による回答であることを留意し、解釈する必要がある。また、既婚者には、既婚及び事実婚が含まれ、未婚者には未婚、離別及び死別により現在婚姻状況にない者が含まれる。

図表 1-3-1 WEB 調査の割付（婚姻状況・年代・地域）

(人)

		大都市	人口30万人以上	人口30万人未満	町村
未婚	20歳代(n=360)	108	72	108	72
	30歳代(n=180)	54	36	54	36
	40歳代(n=180)	54	36	54	36
	50歳代(n=120)	36	24	36	24
	60歳代(n=120)	36	24	36	24
	合計(n=960)	288	192	288	192
既婚	20歳代(n=240)	72	48	72	48
	30歳代(n=420)	126	84	126	84
	40歳代(n=420)	126	84	126	84
	50歳代(n=480)	144	96	144	96
	60歳代(n=480)	144	96	144	96
	合計(n=2,040)	612	408	612	408
全体	合計(n=3,000)	900	600	900	600

なお、総務省の通信利用動向調査（平成 22 年）によると、国民全体のインターネット利用率は 78.2% である。当該 WEB 調査の回答者は、インターネットを利用し、WEB 調査モニターに登録・回答できる者であることから、情報にアクセスできる環境・能力を持っている人たちであることに留意する必要がある。

調査方法

インターネット調査会社（株式会社マクロミル）の登録モニターに対する、インターネットによるアンケート調査を実施した。

調査期間

男性調査：平成 23 年 11 月 28 日（月）～11 月 30 日（水）

女性調査：平成 24 年 1 月 20 日（金）～ 1 月 23 日（月）

調査内容

ブロック	【男性】の調査項目		【女性】の調査項目	
A. プロフィール	問 1～15	年齢、就業形態、職業・職種、創業年数、従業員数、居住地域、婚姻状況、交際相手の有無、子どもの人数、子どもの年齢、家族構成、単身赴任経験、学歴、学校形態、収入、労働時間	問 1～9	年齢、就業形態、居住地域、婚姻状況、子どもの人数、子どもの年齢、ライフコース、家族構成、学歴、収入
	問 16～19	(配偶者の)年齢、就業形態、職業・職種、収入	問10～12	(配偶者の)年齢、就業形態、職業・職種、収入
B. 性別役割分担に関する意識	問 20	性別役割分担に関する意識(自身の態度)に関する 23 項目	問13～14	性別役割分担に関する意識(男性がどのように考えているか、配偶者間での希望する考え方・感じ方)に関する 23 項目
C. 日常生活の意識・行動	問 21 問 25	やる気がしない等、飲酒の傾向、配偶者等への行為加害経験、仕事に関する意識・行動に関する項目	問 15	やる気がしない等、飲酒の傾向、配偶者等への行為加害経験、仕事に関する意識・行動に関する項目
	問 22	リストラ経験	-	-
	問 23～24	診療科や病院の通院歴	問 19	診療科や病院の通院歴
	問 26	経済的な不安・問題	問 16	経済的な不安・問題
	問 27～28	配偶者等からの暴力・セクハラ被害体験	問17～18	配偶者等からの暴力・セクハラ被害体験
D. 家事・育児・家計管理	問 29	買い物や子育ての頻度	問26～27	配偶者の買い物や子育ての頻度、子育ての評価
	問 30～32	育児休業取得経験、取得希望、育児への関与希望	問30～32	育児休業取得経験、取得希望、育児への関与希望
	問 33	家計管理の分担	問 23	家計管理の分担
E. 配偶者との関係	問 34～36	夫婦間コミュニケーション有無・希望、妻不在時の困難度	問24～25 問 28	夫婦間コミュニケーション有無・希望、妻不在時の困難度
F. 老後の生活	問 37～39	老後の楽しみ、一緒に居たい人、介護希望者	問20～22	老後の楽しみ、一緒に居たい人、介護希望者
G. 悩みや困りごとの相談	問 40～49	悩みの有無とその内容、相談の有無、利用希望の有無、希望する相談方法・体制	-	-
H. 周囲の意識	問 50～58	親、配偶者、職場の性別役割分担に関する意識、親の学歴・就業形態	-	-
I. 自身の規範意識	問 59	自身の性別役割分担についての規範意識	問 29	自身の性別役割分担についての規範意識

WEB 調査結果に関する留意点

- ・ 図表の記載において、百分比は小数点第 2 位で四捨五入し、小数点第 1 位までを表示している。四捨五入したため、合計が 100%を前後することがある。
- ・ 数値の合計を記載する場合(「とてもそう思う」「そう思う」の合計など)は、グラフに記載されている数値を合計しているため、実際の合計値とは小数点第 1 位において異なることがある。

(2) グループインタビュー調査

調査対象及び調査時期

年代及び婚姻状況別で男性の性別役割分担に関する意識が異なると思われるため、婚姻状況別に各年代がばらつくように設定し、それぞれ7名のグループで実施した。いずれの調査も平成24年3月4日(日)に行われた。なお、グループインタビュー実施前に調査内容の設計を行う目的から、プレインタビュー調査を10名を対象に実施している。

	年代	離婚経験	子どもの有無	人数
グループA 未婚 (現在結婚していない)	20歳代	なし	あり	2人
	30歳代	なし	あり	2人
	40歳代	なし	あり	1人
	50歳代	あり	あり	1人
	60歳代	あり	あり	1人
	小 計			7人
グループB 既婚 (現在結婚している)	20歳代	なし	なし	1人
	20歳代	なし	あり	1人
	30歳代	なし	なし	1人
	30歳代	なし	あり	1人
	40歳代	なし	あり	1人
	50歳代	なし	あり	1人
	60歳代	なし	あり	1人
	小 計			7人
合 計				14人

調査方法

調査会場に調査対象者を集め、司会者の進行のもとでグループインタビューを行う方法(グループインタビュー)

調査内容

調査内容は、次の通りである。下記の項目にしたがって、自由に意見を求めた。

- ・経済的な役割について
- ・仕事など社会的な役割について
- ・家事の役割について
- ・恋人や夫婦間の主導権役割について
- ・相談することについて
- ・結婚について
- ・育児や育児休業取得について
- ・定年・老後の生活の希望について

(3) 既存資料の調査

調査対象

男性の性別役割分担意識について、また男性の性別役割分担意識と男性の日常生活の意識や行動との関連について扱われている調査を中心に収集した。

調査方法

文献及びインターネットを通じて、資料収集を行った。

調査内容

- ・男性の性別役割分担意識について
- ・家事について
- ・子育てについて
- ・仕事や経済的問題について
- ・悩みや困りごとについて
- ・気分障害や自殺等について
- ・配偶者や恋人との関係について
- ・定年後や老後の希望について
- ・飲酒の習慣について

4 . 調査研究会の概要

(1) 目的

本事業を効果的に遂行するため、「男性の性別役割分担意識に詳しい学識経験者」「医療関係者」「男性の悩みを受けている相談員」「統計学の学識経験者」からなる調査研究会を設置し、男性の性別役割分担意識に関する調査事業について、その調査内容、調査方法及び調査結果の分析について検討し、報告書を作成することを目的とする。

(2) 委員名簿

座長

伊藤 公雄 京都大学大学院文学研究科教授

委員（五十音順）

石藏 文信 大阪大学大学院医学系研究科 准教授

加藤 千恵子 東洋大学総合情報学部 准教授

羽下 大信 甲南大学文学部 教授

吉岡 俊介 オフィスよしおか シニア産業カウンセラー

吉田 千鶴 関東学院大学経済学部 教授

(3) 調査研究会日程と議題

第1回

日 時：平成23年9月7日（水）14：00～16：00

議事要旨：男性の性別役割分担意識に関する調査を実施するにあたり、問題の背景確認や調査方法、調査対象、調査内容について、討議された。また、グループインタビュー調査の概要及び既存資料の調査の進め方について、討議された。

第2回

日 時：平成23年10月21日（金）9：30～11：30

議事要旨：男性を対象としたインターネット調査の実施について、調査内容、サンプルの取り方について、討議された。また、既存資料の調査の中間報告について、討議された。

第3回

日 時：平成23年12月12日（月）10：00～12：00

議事要旨：男性を対象としたインターネット調査の速報値を基に、調査結果のまとめ方や女性を対象とした調査内容について、討議された。

第4回

日 時：平成24年2月14日（火）13：00～15：00

議事要旨：男性を対象としたインターネット調査の結果及び女性を対象としたインターネット調査

の速報値を基に、調査結果のまとめ方やグループインタビュー調査内容について、討議された。また、報告書についての構成案の確認が行われた。

第5回

日 時：平成24年3月14日（水）15：00～17：00

議事要旨：インターネット調査結果、グループインタビュー調査結果、既存資料の調査結果の報告が行われ、報告書案の内容について、討議された。

（4）調査委託機関

本調査は、いずれも内閣府が日本 PMI コンサルティング株式会社に委託して実施した。

